

令和4年度 管内景気動向調査報告

【第3四半期：令和4年10月～12月】

高山西商工会
経営発達支援事業

調査概要

調査目的:管内小規模事業者の景気動向等を収集・周知することで、地域経済の動向把握並びに将来予測、それらを踏まえた事業活動に役立てていただく。

調査対象:高山西商工会管内の小規模事業者 15事業者

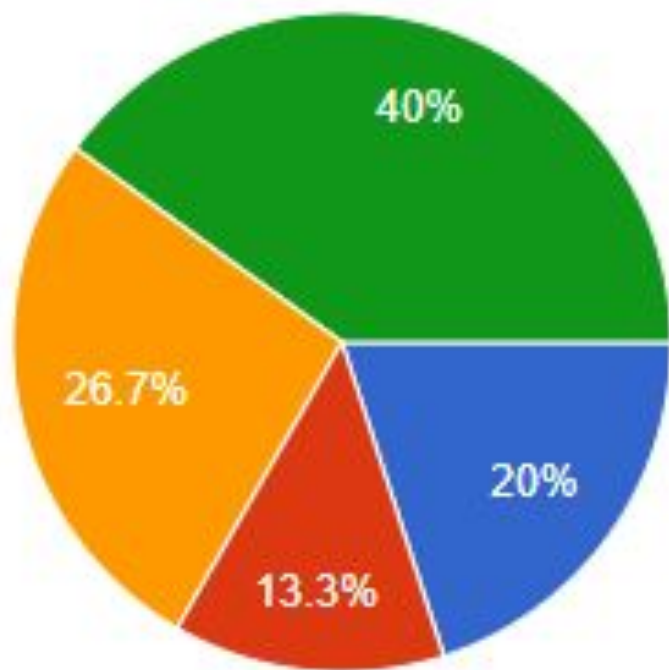
【内訳】製造業:3、建設業:2、小売業:4、サービス業:6

調査時期:令和4年12月下旬～令和5年1月中旬

調査方法:経営指導員が巡回・窓口相談時に調査票を用いて調査を実施

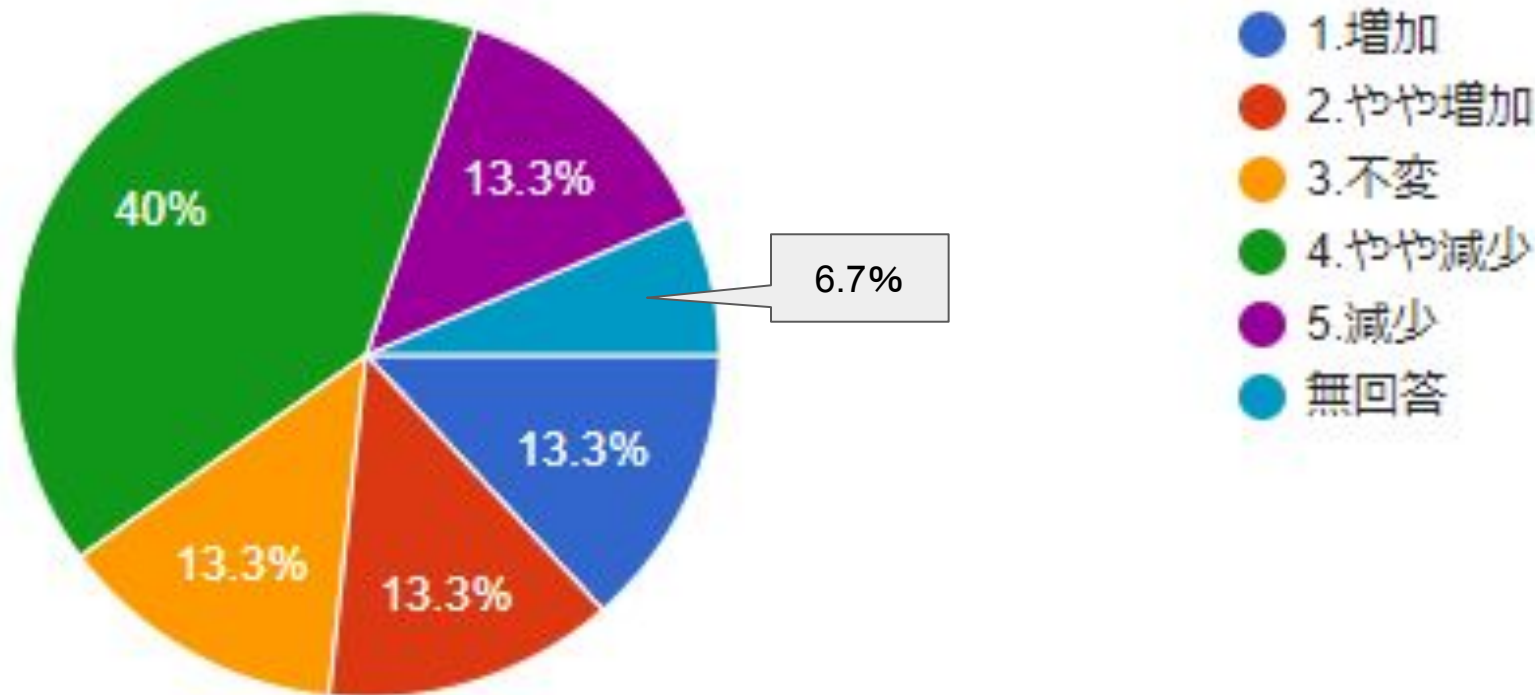
調査内容:売上高、仕入単価、客単価、客数、採算、資金繰り、従業員数、
業界の景気状況、設備投資の有無 等

業種

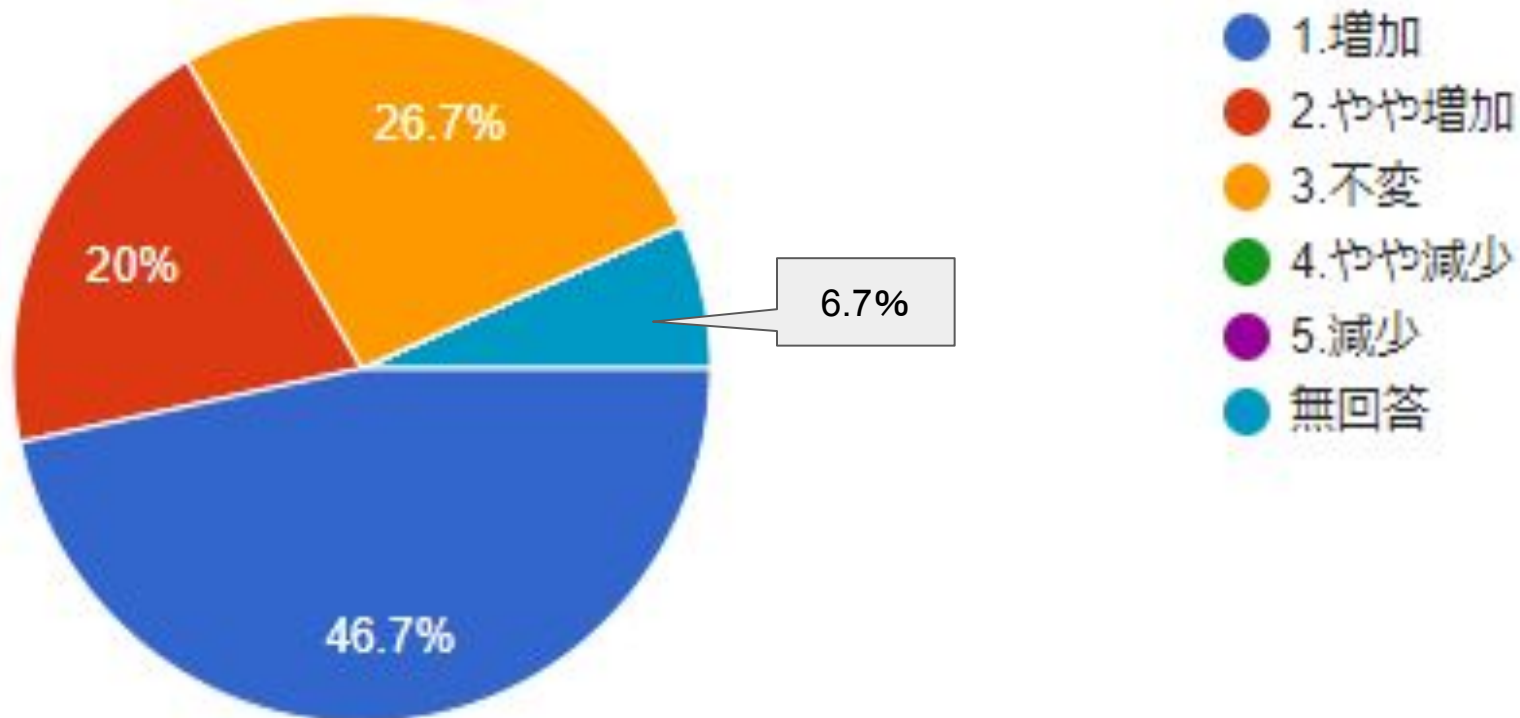


製造業	3
建設業	2
小売・卸売業	4
サービス業	6

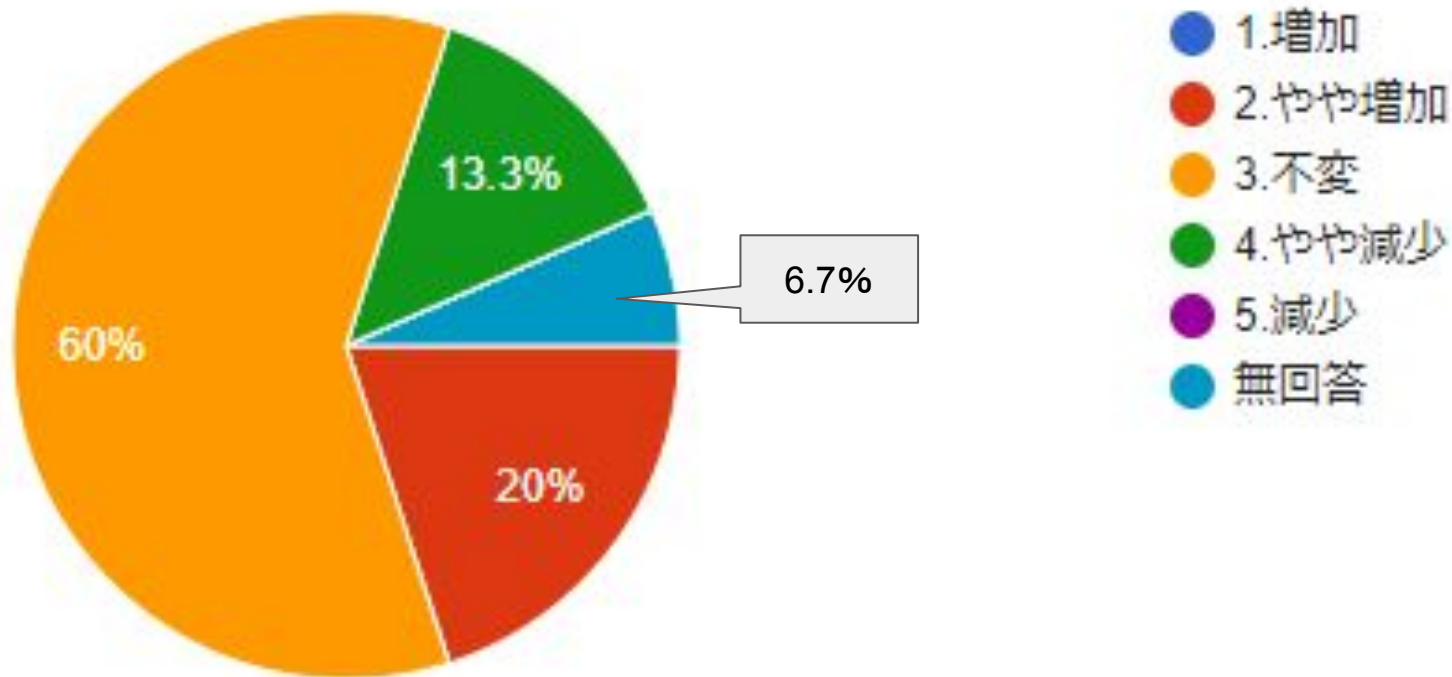
売上高：前年同時期（R3年10～12月）と比べて



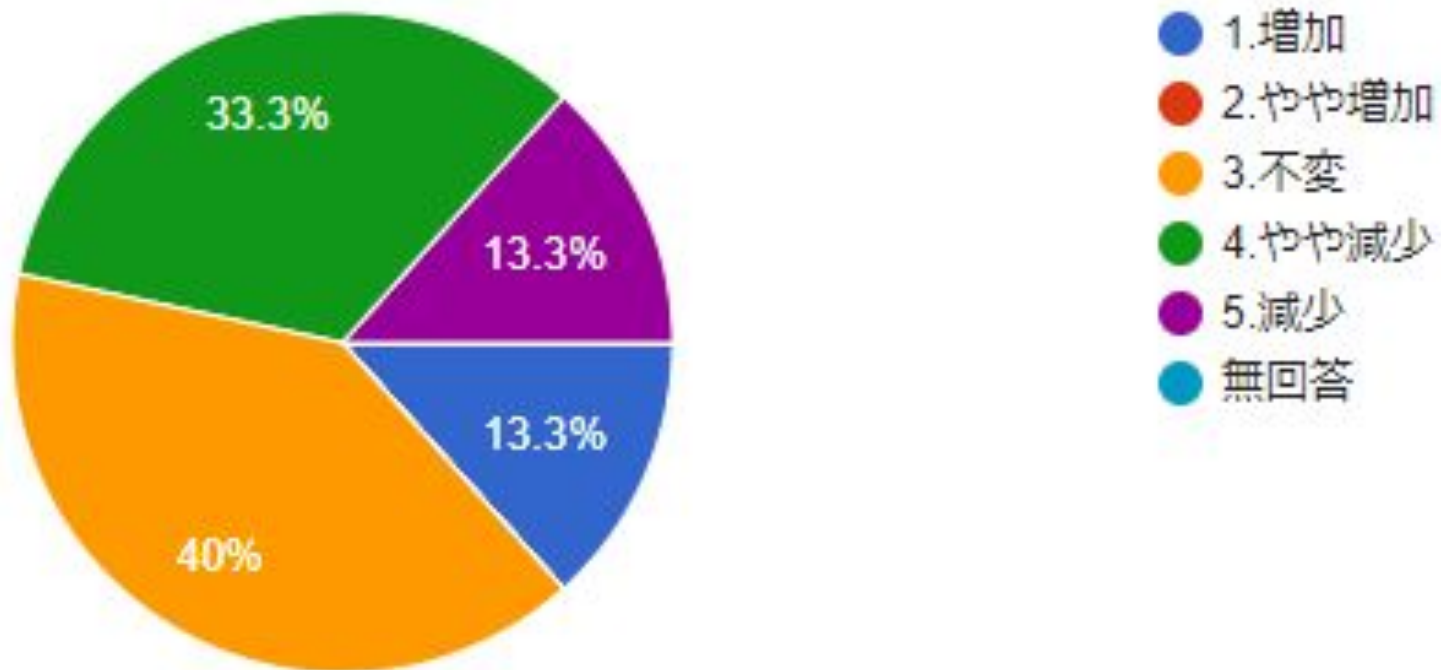
仕入単価：前年同時期(R3年10～12月)に比べて



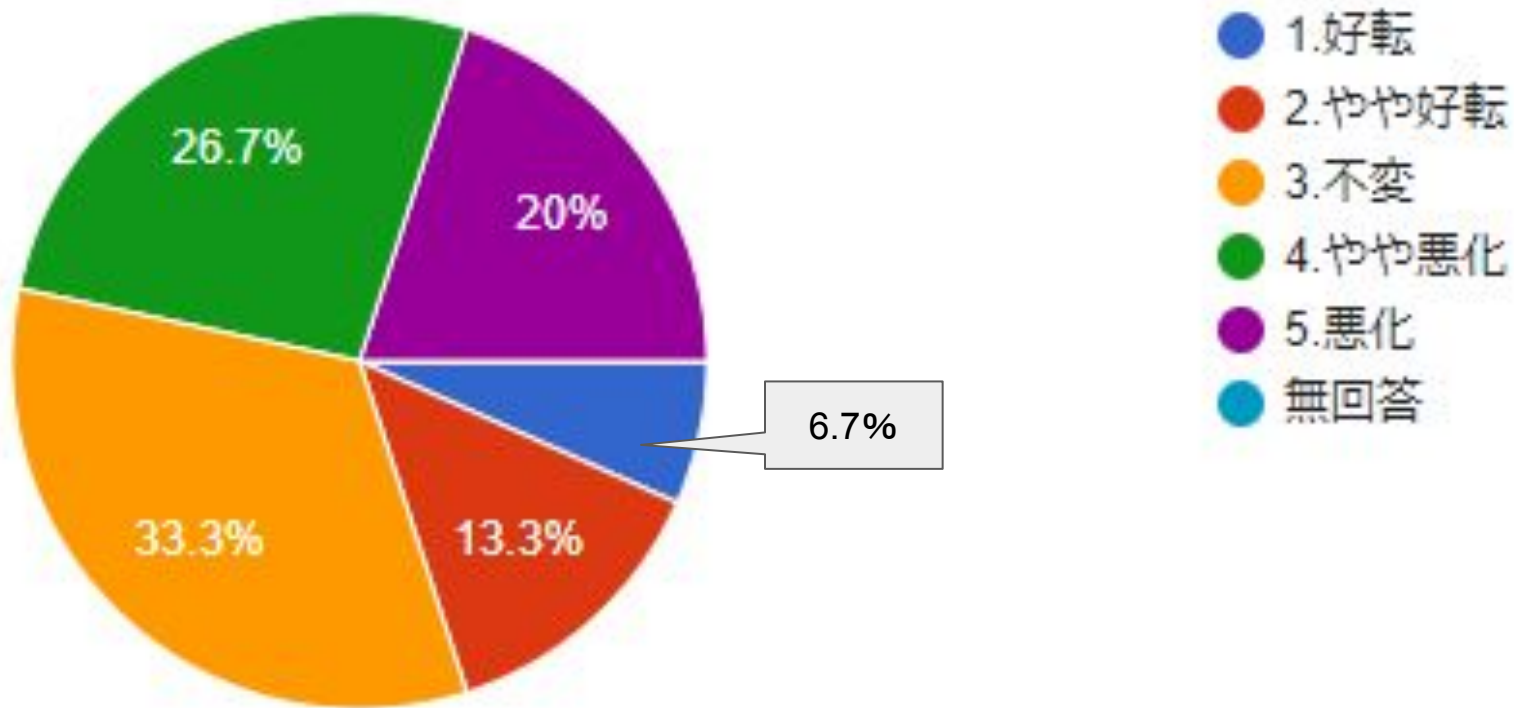
客単価：前年同時期(R3年10～12月)に比べて



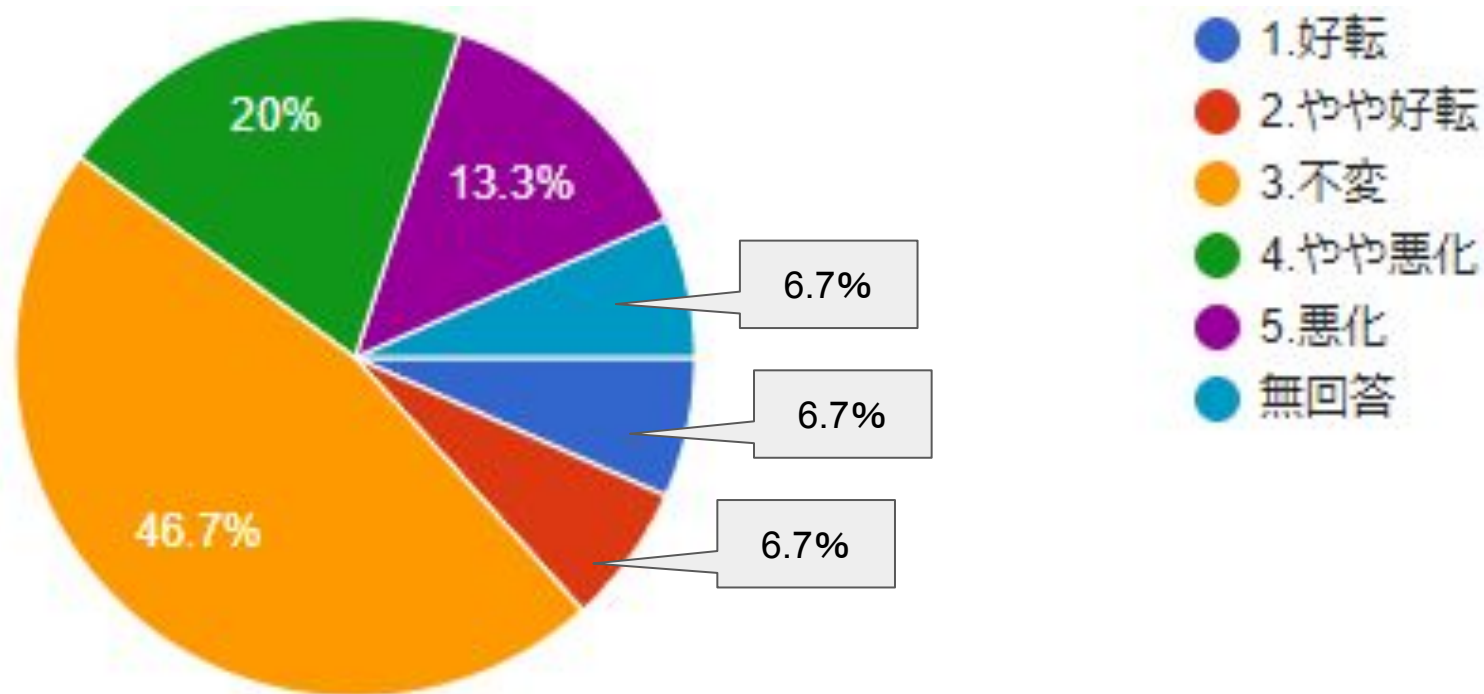
客数：前年同時期(R3年10～12月)に比べて



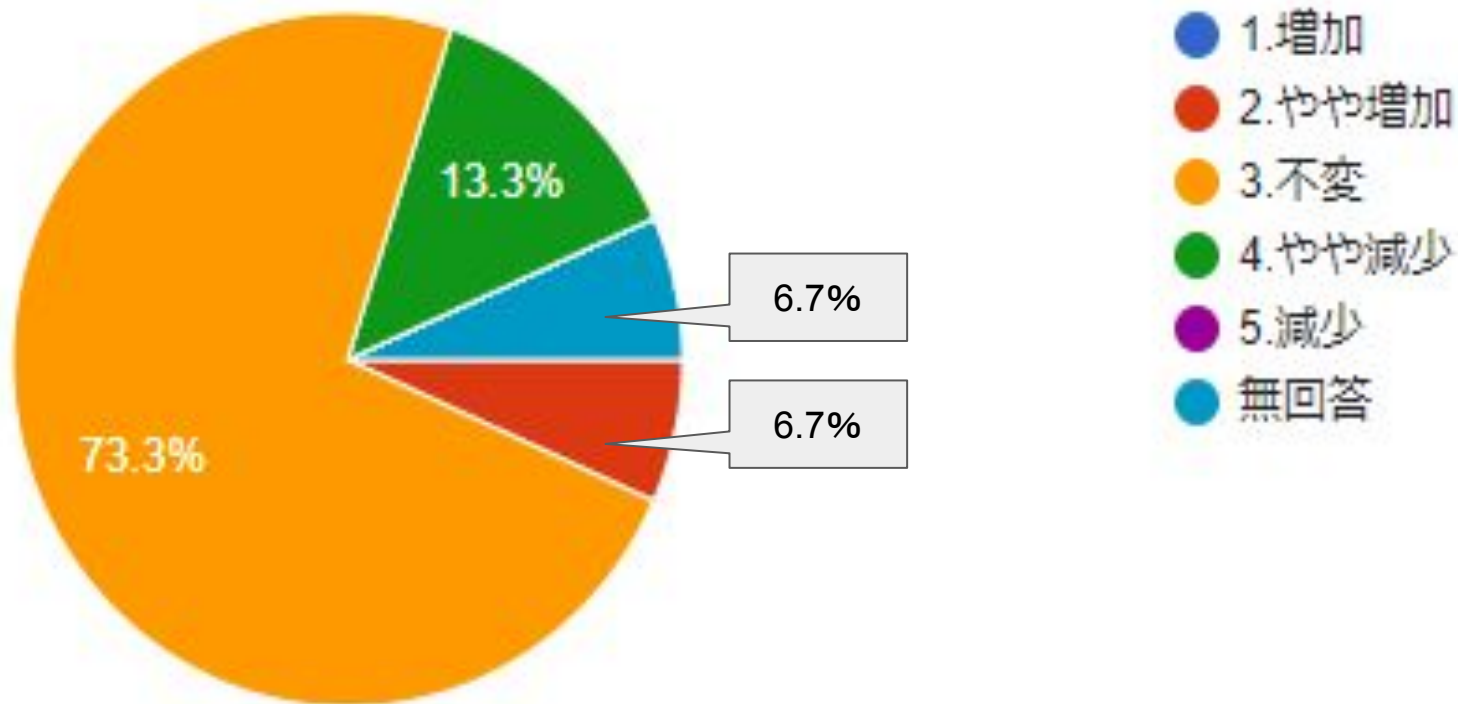
採算：前年同時期(R3年10～12月)に比べて



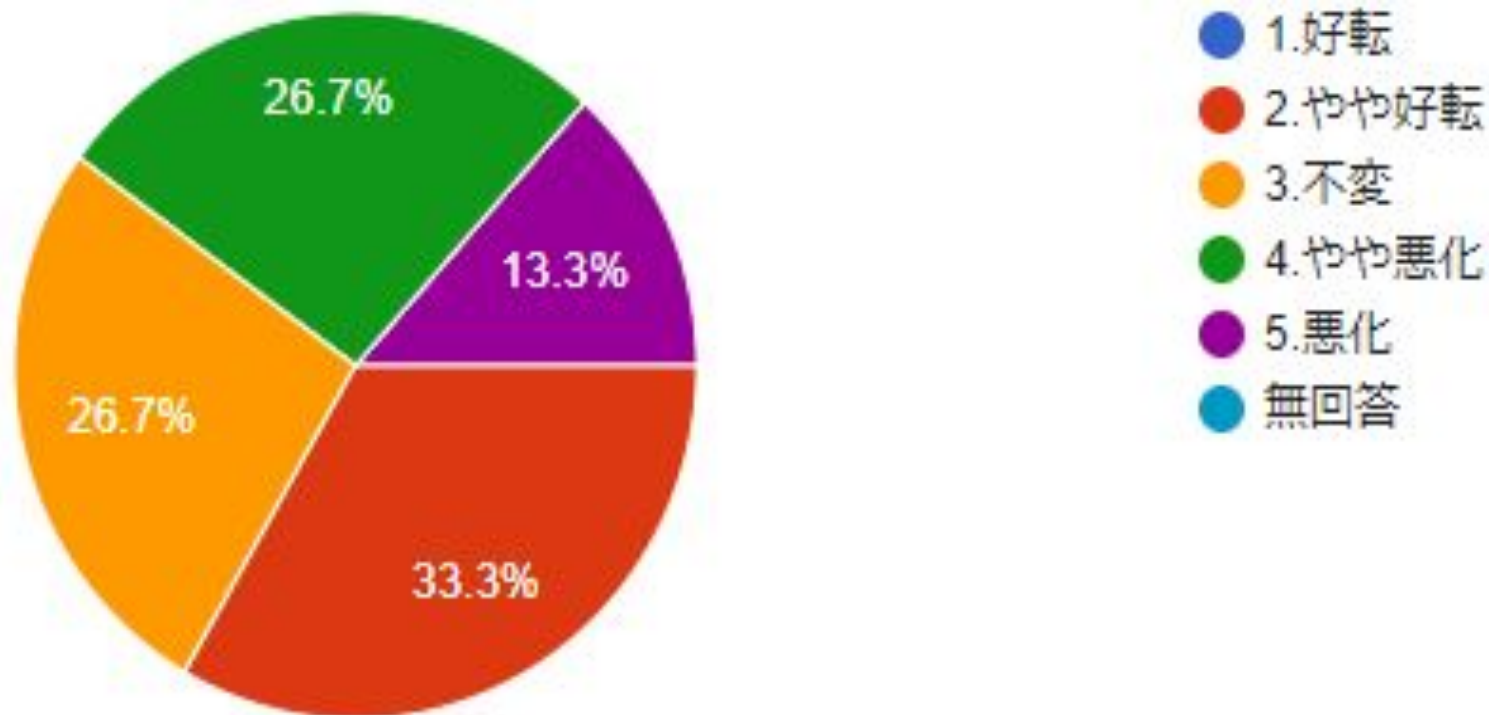
資金繰り: 前年同時期(R3年10～12月)と比べて



従業員数：前年同時期（R3年10～12月）と比べて



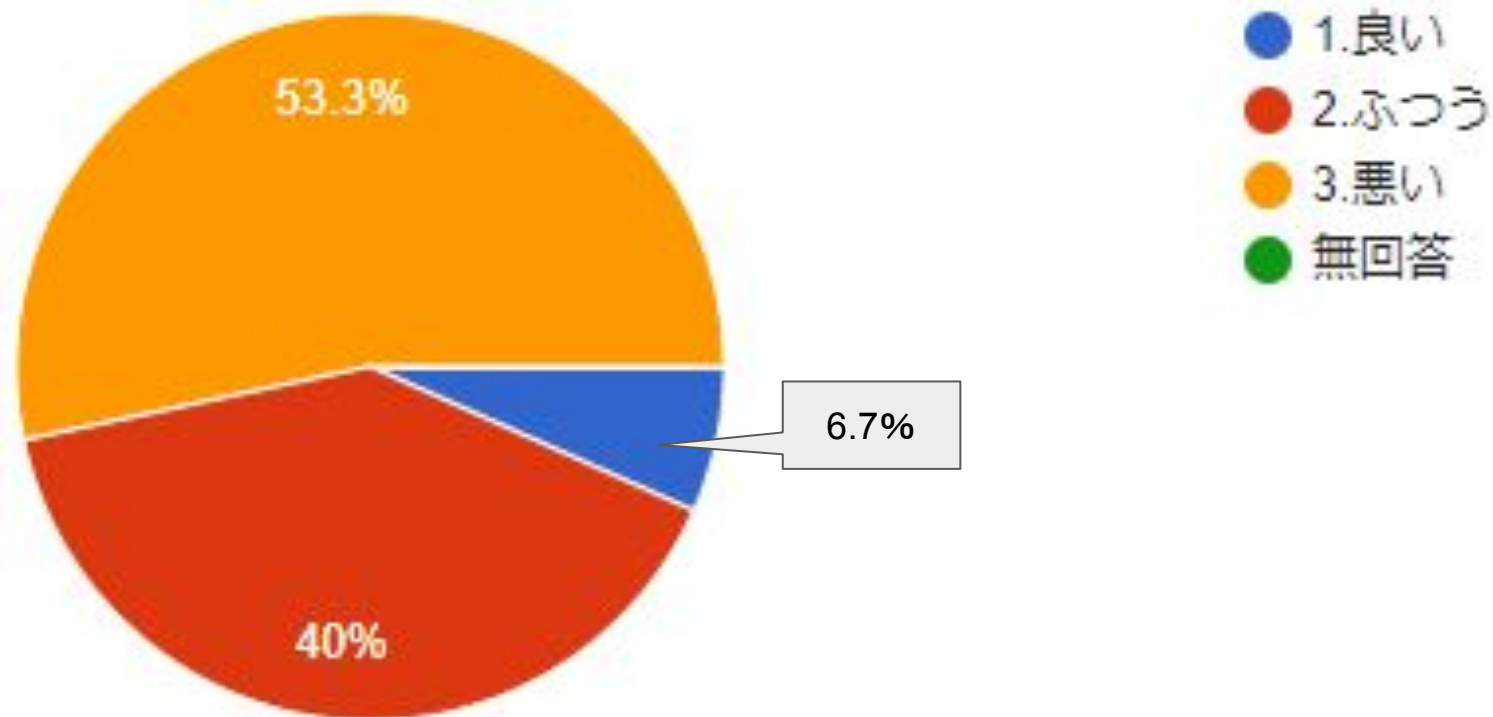
業界の景気状況：前年同時期（R3年10～12月）と比べて



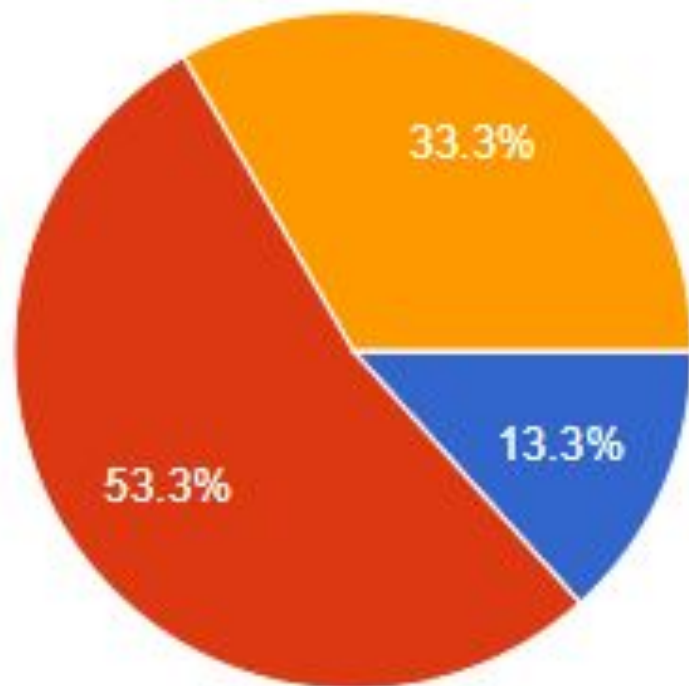
景気判断の背景についてのコメント

- 売上高増加は仕入単価が上がったため。現在も従業員不足により機会損失があるため、早急に人員確保に努める(製造業)
- 観光関係においては、全国旅行支援の影響がかなりあったと思う(製造業)
- 事業規模縮小している(建設業)
- 景気が一向に良くならない。コロナの影響はだいぶ少なくなった(小売業)
- まだまだコロナの影響はあります。が、少しずつ戻りつつあります(小売業)
- 客足が戻りつつある。第8波の影響が心配(年明け)(サービス業)
- まだコロナの影響も多少あり、好転している印象はない(サービス業)
- 仕入が上がった(サービス業)
- 仕入単価値上がり。コロナにより宴会中止(サービス業)
- コロナから人流が戻ってきていると思ったが、紅葉シーズンが終わったら客数が少なくなった(サービス業)

今期(R4年10～12月)の景気状況

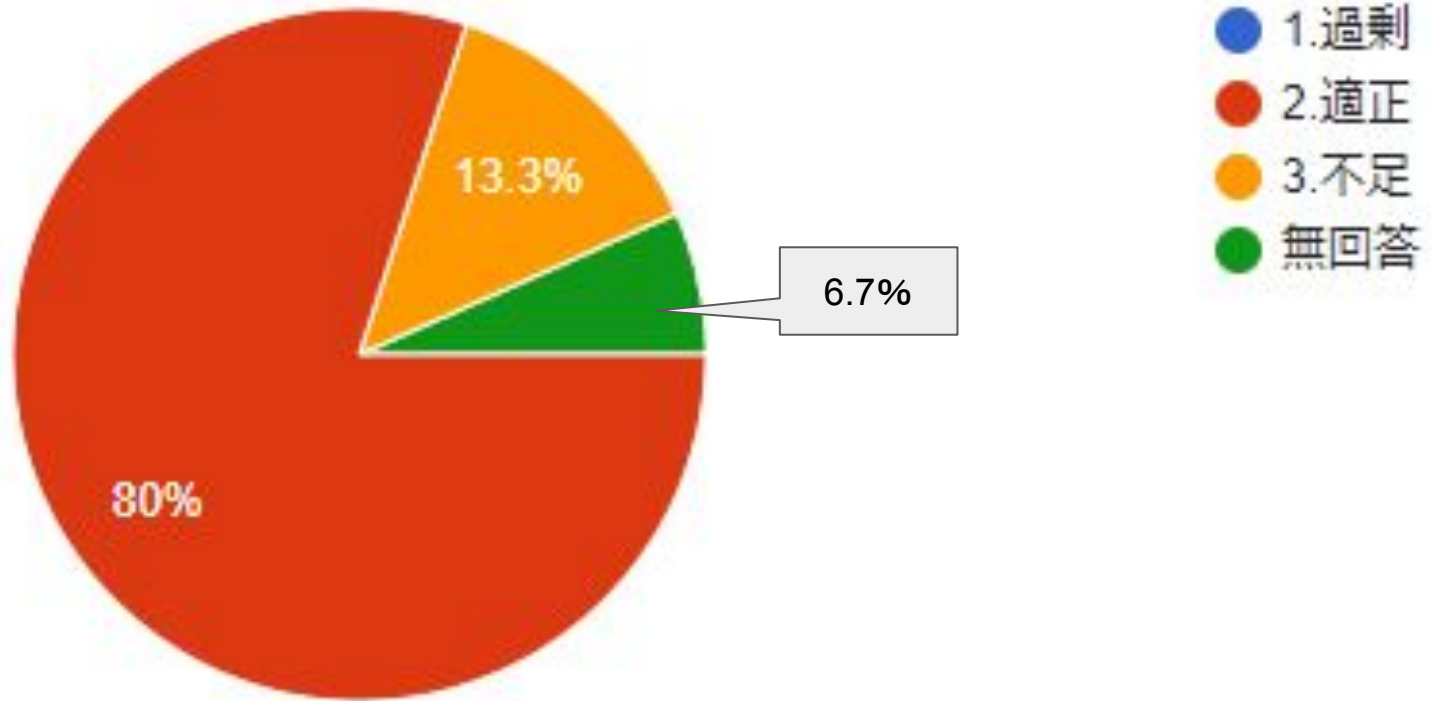


今期(R4年10～12月)の採算(利益)

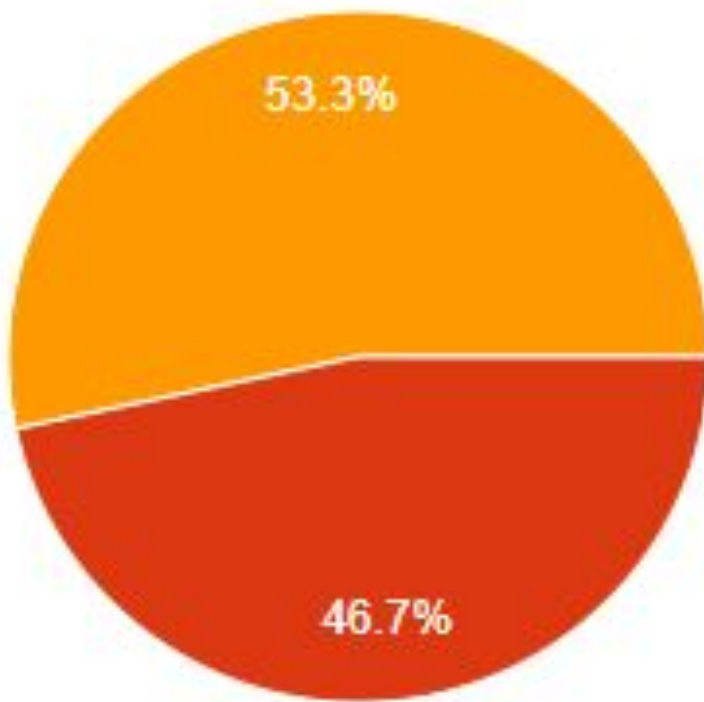


- 1.黒字
- 2.収支トントン
- 3.赤字
- 4.無回答

今期(R4年10～12月)の従業員数

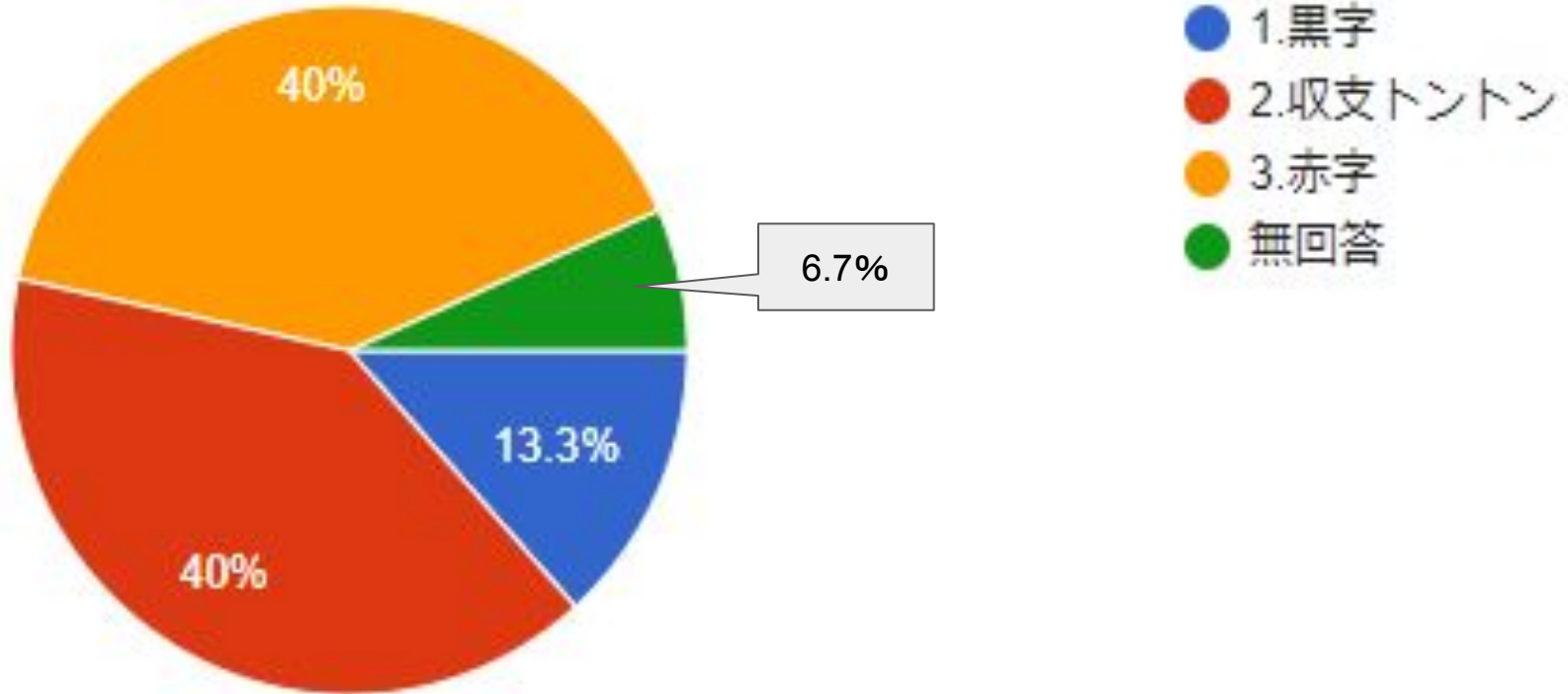


景気状況：来期(R5年1～3月)の見通し

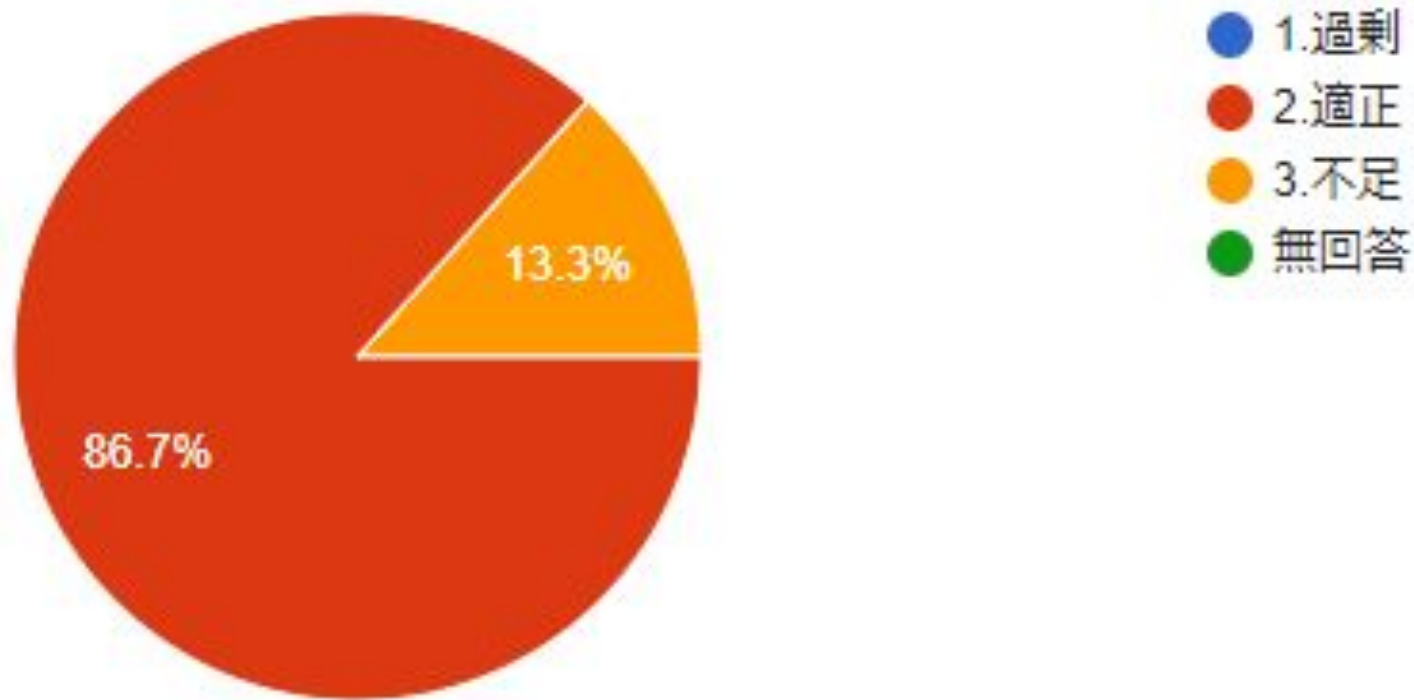


- 1.良い
- 2.ふつう
- 3.悪い
- 無回答

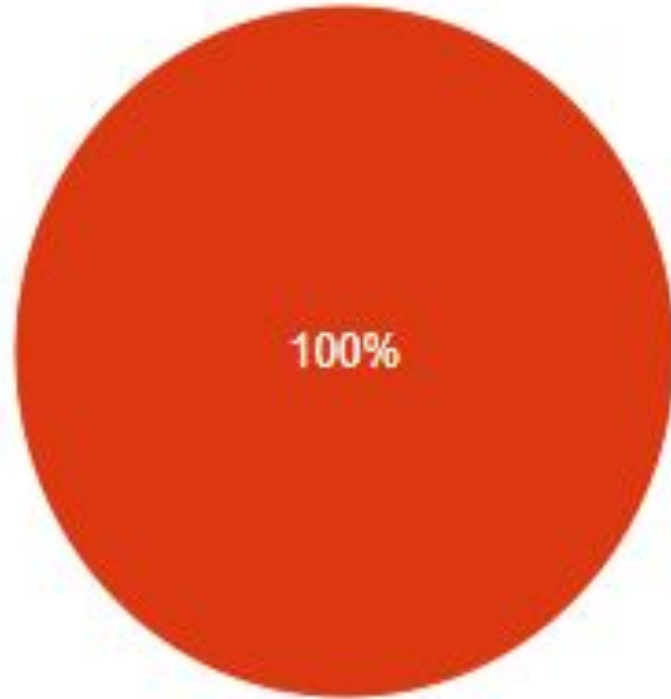
採算(利益): 来期(R5年1~3月)の見通し



従業員数：来期(R5年1～3月)の見通し



今期(R4年10～12月)の設備投資の有無

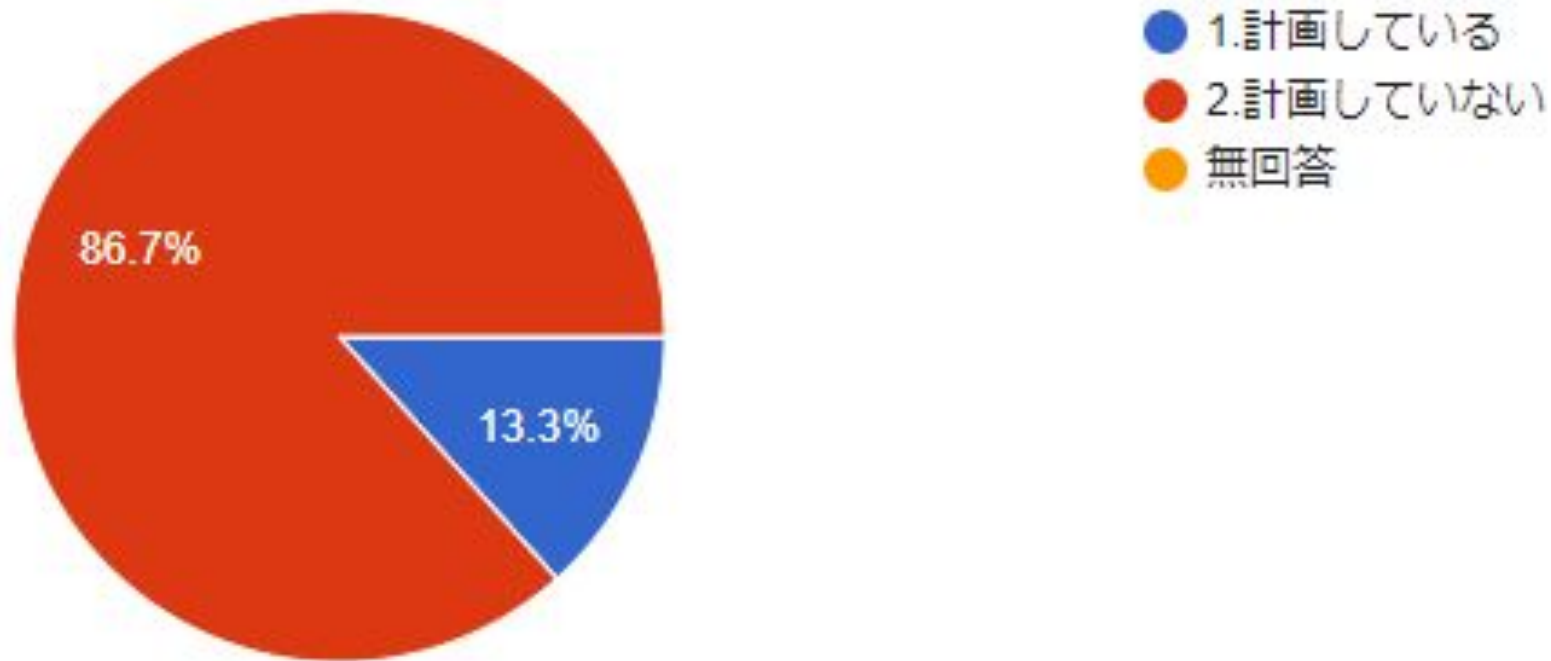


- 1.実施した
- 2.実施していない
- 無回答

今期(R4年10～12月)実施した設備投資の内容

- ・なし

来期(R5年1～3月)の設備投資の計画の有無



来期(R5年1～3月)に計画している設備投資の内容

- 機械導入(製造業)
- 製造設備必要機械買替え(製造業)

自由記入欄へのコメント

- ・なし